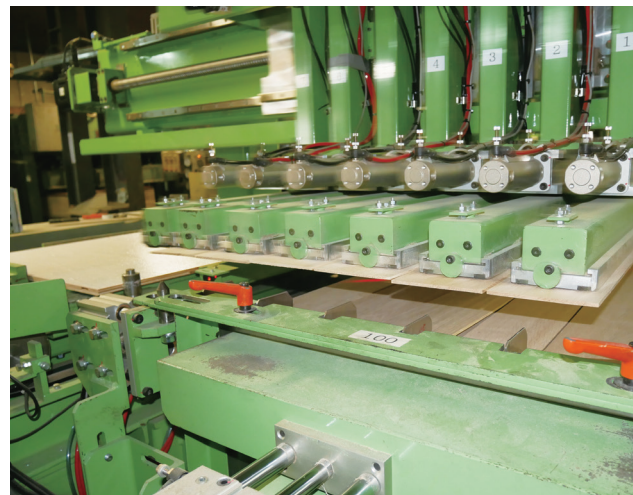


矢島木材乾燥株式会社

由利本荘市矢島町七日町字下山寺42-2

化粧単板へのテープ仕組みが不要なフローリング 生産工程を確立し、コスト優位性で国内外へ販路を拡大

【事業計画名】積層床板を内需から外需へ、欧米等への販路拡大



テープ仕組みの無い化粧単板(バラ)を合板に接着する様子



テープ仕組みを施した化粧単板の例

取り組みの経緯

矢島木材乾燥は複合フローリングの生産・販売を主力とするメーカーで、製品の約90%を国内文化・教育施設向けに販売している。少子化の影響で国内需要の先細りが見込まれるなか、店舗・住宅・海外向け製品の製造にも取り組んでいるが、これら需要に対応するためには、文化・教育施設向け製品の生産性を向上させ、付加価値の高い製品の製造に人材を集中させる必要があった。

また、化粧単板の仕入の約6割を中国に依存してきたが、中国国内における原木伐採禁止により、中国以外から輸入を検討する必要性が生じた。さらに、中国ではバラの化粧単板を合板に接着し易いように仮止め用のテープを貼る「仕組み」作業を行っているが、中国以外では仕組み作業は行っていないため、仕組みの無いバラ単板のままで生産性を増強する製造工程が必要となり、本事業を計画した。

実施内容

複合フローリングは基材部分に杉合板を使用し、合板の表層に化粧単板を接着して製造する。これまで「合板の分割(3×6尺→3×2尺へ3分割)」→「糊付け機投入」→「合板への化粧単板の貼り付け」の3工程は、それぞれ別工程として作業をしていた。

この3工程の一貫生産かつ全自動化を可能とするライン構築を検討した。さらに、合板表層にバラの化粧単板を自動貼り合わせする装置を検討した。

機械およびライン構築には庄内鉄工株式会社(秋田県能代市)から協力を得て、全自動化ラインが完成した。通常、テープ仕組みが無い化粧単板の接着は作業時間が長くなり不良発生の原因となるが、不良はほとんど発生してない。テープ仕組みが無い単板によるフローリング生産が可能な工場は、国内でも同社のみでありコスト優位性は高い。

事業の成果

自動化ラインの整備により合板の分割から含めて4人の省力化が可能となり、「輸出・店舗・住宅」向け製品の生産強化が可能となった。仕組みの無い化粧単板の接着が可能となったことで、ベトナム・ルーマニア・バルト3国等から輸入した化粧単板で製造することが可能となり、コスト優位性が向上した。

働き手の確保が年々難しくなるなか、以前の受注生産体制では公共物件の割合が多い12~2月の繁忙期は対応が難しい状況もあった。ライン構築により見込み生産へ切り替えたことで、繁忙は一定程度平準化された。



バラ単板接着後の仕掛品



廃材を木質ペレットにする工程



FSC・PEFC森林認証を取得

当社では労働環境の整備にも力を入れており、無災害記録は1,380日を超えています(平成30年8月2日時点)。当社は鳥海山のブナ材を主原料にした無垢フローリングメーカーとして歩み始めました。以来、創業から70年の経験を生かし、高度で幅広いソリューション提案に努めています。「YASHIMA」ブランドは技術革新を怠らず、原材料の特性を生かしながら多様なデザイン空間に挑戦する情熱を持ち続けています。決して驕ることなく謙虚な気持ちでユーザー様に感動を与えるフローリングづくりに専念していきます。



代表取締役
佐藤 仁明さん

今後の活動予定

韓国では高級住宅などでヒノキフローリング(化粧単板厚3ミリ)の需要が増加しており、販売を強化する考えである。

同社では、適切な森林管理等が行われた森林からの製品であることを認証する「FSC認証」、持続可能な森林管理のために策定された国際基準等に則って製品を生産していることを認証する「PEFC森林認証」を取得している。国内フローリング業者では数少ない取り組みであるが「海外展開を拡大するうえでも環境問題への配慮は重要な取り組み」と佐藤社長は語る。



矢島木材乾燥株式会社

代表者	代表取締役 佐藤 仁明
設立	昭和24年4月
資本金	1,500万円
従業員数	42名
業種	木材・木製品製造業
TEL	0184-56-2500
FAX	0184-55-2539
URL	www.yashima-f.co.jp